

# 2021年3月期 決算説明資料

菊水電子工業株式会社  
[www.kikusui.co.jp](http://www.kikusui.co.jp)



電気安全規格試験マルチアナライザ  
TOS9300シリーズ

# 目次

会社紹介

P3～

2021年3月期 連結業績概要

P12～

2022年3月期 連結業績予想

P23～

今後の事業戦略

P25～

# 会社紹介

# 会社紹介

## ● 会社概要 (2021年3月末現在)

|                   |   |  |
|-------------------|---|--|
| 社名(銘柄コード)         | 菊水電子工業株式会社(6912)  |  |
| 設立                | 1951年(昭和26年)8月8日  |  |
| 資本金               | 22億125万円(3月決算)  |  |
| 発行済株式数            | 9,900,000株(1単元株数100株)   |  |
| 事業内容              | 各種電子計測器・産業用電源装置・<br>ソフトウェアの設計、製造、販売及び輸出入  |  |
| 大株主<br>(自己株式は含まず) | 株式会社ケーティーエム 10.94%<br>菊水取引先持株会 9.72%<br>菊水電子工業従業員持株会 4.51%<br>株式会社みずほ銀行 4.33%<br>小林寛子 4.17%<br>日本生命保険相互会社 3.62%<br>アジア電子工業株式会社 2.70%<br>ケル株式会社 2.65%<br>株式会社三菱UFJ銀行 2.58%<br>橋本幸雄 2.26% |  |
| 代表者               | 代表取締役社長 小林一夫  |  |
| 従業員数<br>(当社グループ)  | 320名(2021年3月末現在) []は前年比増減<br>研究開発: 91名 [- 5]<br>生産・購買: 85名 [+10]<br>営業: 111名 [- 4]<br>管理: 33名 [± 0]   |  |



# 会社紹介

## ● 国内外拠点・関連子会社



# 会社紹介

## 沿革

**1951**  
昭和26年

株式会社菊水電波設立  
8月8日、東京都大田区馬込にて  
資本金30万円、従業員6名で発足  
主要製品はラジオ用ダイヤル

創業社長 小林 証  
(当時の写真、51歳)

初期のダイヤル

創業時の建物

創業メンバー  
小林正則 (相談役)、小林 証 (創業者)、尾崎宗造 (副社長)  
渡辺正雄 (取締役)、一柳敏彦、石崎 剛

**1957**  
昭和32年

ダイヤルから  
測定器メーカー菊水へ  
計測器がダイヤルの売上を上回る  
OEMのトランジスタラジオも生産

低周波ディケード発振器  
ORC-35A  
独特のディケード方式  
なかなか便利な製品であった

ロングウェーブTRラジオ  
TR-804  
OEM製造していた  
トランジスタラジオ

**1961-62**  
昭和36~37年

菊水電子工業株式会社  
へ社名を変更  
専ら計測器・測定器の開発製造  
方向転換による方向転換の第一歩

ダイヤル・ディケード・オシロスコープ 807A  
多人同時測定専用(ディケード)計測器  
顧客の要求に応じた製品が誕生した。

国産電子計測器 PW-107  
国産電子計測器の先駆け  
10000回測定可能な  
ディケード計測器

五反田工場の新築

**1966-68**  
昭和41~43年

第一次創業の年  
創立15周年  
計測器・測定器の開発製造の第一歩  
計測器・測定器の開発製造の第一歩  
計測器・測定器の開発製造の第一歩

新777型ディケード計測器  
国産電子計測器の先駆け  
10000回測定可能な  
ディケード計測器

五反田工場  
国産電子計測器の先駆け  
10000回測定可能な  
ディケード計測器

デジタルオシロスコープ 154  
国産電子計測器の先駆け  
10000回測定可能な  
ディケード計測器

**1971-74**  
昭和46~49年

創立20周年  
第一次創業の年  
名産品、海外に需要を伸ばす  
電子計測器の導入

20周年記念の日本全国  
計測器展の開催

**1981-82**  
昭和56~57年

米空軍との大型商談  
オシロ 7160台 (23億円)  
オシロの商談として世界最大の取引  
北関東営業所開設

計測器で米軍の一番札  
毎日新聞  
初の  
23億円  
の取引

一面で報じる毎日新聞 (1982)

**1985-88**  
昭和60~63年

オシロスコープCOM3000シリーズ  
グッドデザイン産業機械部門大賞を受賞  
オランダに「菊水ヨーロッパ」を設立  
英国マルコーニ・インストルメンツ社と  
日本総代理店契約締結

計測器業界初の快挙！  
グッドデザイン産業機械部門  
大賞を受賞した  
オシロスコープ  
COM3000シリーズ

オシロスコープ COM7000シリーズ  
当業が掛かるとも広告だけで  
どんどん注文が舞い込んだヒット製品

**1989-91**  
平成元~3年

株式会社店頭公開  
西東京営業所 開設  
専属物流会社  
ケイアールシー株式会社設立

1991年11月  
株式会社店頭に新規公開  
公募による新株式発行数：75万株  
発行価額：2,330円/1株

1989年6月  
五反田市に  
西東京営業所  
開設

株式会社店頭の日本本社 (川崎市中原区)  
平成3年3月 売上高112億、従業員数386名であった

**2000-01**  
平成12~13年

ISO14001 認証取得  
IT(ダブル)推進による業務効率の向上  
ISO9001 認証を再更新 (ISO9001)  
4版ISO9001 規格の適用(計測器)

2001年発売の4製品がグッドデザイン賞を受賞！

GOOD DESIGN AWARD 2001

アイエスエス  
1080003

アイエスエス  
1080004

アイエスエス  
1080005

アイエスエス  
1080006

**1995**  
平成7年

ISO9001 認証取得  
当社ホームページ開設  
全国営業拠点をオンライン化

1995年12月22日  
品質マネジメントシステム  
ISO9001 認証を取得  
登録証番号JGA-1100

ホームページ開設  
1995年12月22日  
98年7月に正式オープン  
1995年12月22日  
1995年12月22日

# 会社紹介(事業概要)

## ● 事業活動トピックス



<中国>



<米国>



<欧州>

### <新製品>

- ・KHA1000(EMC)
- ・PLZ6000R(回生負荷)
- ・TOS3200(漏洩電流試験器)
- ・PWR、PCR-Mラインアップ追加



### <経営施策>

・PATスマートラック

・国内営業所統廃合

- ・KHA3000(EMC)
- ・PFX2511(バッテリー充放電試験システム)

- ・TOS5300シリーズ(耐電圧・絶縁抵抗試験器)
- ・Milla-E50(電気自動車(EV)急速充電器)

- ・PCR-LEシリーズ(高機能交流電源)
- ・PWXシリーズ(薄型直流電源)

・創立60周年記念行事

- ・PCR-LE、PWXラインアップ追加
- ・Milla-E20(電気自動車(EV)急速充電器)



- ・TOS9213AS(太陽光パネル用耐電圧・絶縁抵抗試験器)
- ・PLZ-4W(電子負荷)スマートラックの拡充

- ・TOS7210S(PID絶縁試験器)
- ・TOS5200(耐電圧試験器)



- ・PMX-Aシリーズ(小型直流電源)

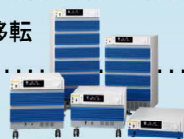
- ・PLZ-5Wシリーズ(電子負荷)

・富士勝山事業所にデモルーム開設  
・Webサイト「KIKUSUI mag」開設

- ・PWR-01シリーズ(直流電源)

・本社移転

- ・PCR-WE/WE2シリーズ(交流電源)



- ・TOS9300シリーズ(電気安全規格試験マルチアナライザ)



- ・PAN-Eシリーズ(直流電源)

2006

- ・菊水貿易(上海)設立(販売拠点)



- ・グローバル製品上市(PCR-Mシリーズ)



2007

2008

- ・欧州代理店網再編
- ・Electronica 2008出展

2009

- ・菊水貿易(上海)の分公司統廃合
- ・生産拠点の合理化(菊水電子(蘇州)閉鎖)

2010

- ・Electronica 2010出展

2011

2012

- ・Electronica 2012出展

2013

- ・深圳分公司設立

2014

- ・Electronica 2014出展

2015

2016

- ・Electronica 2016出展

2017

- ・ソリューションWEBサイト開設



- ・ソリューションWEBサイト開設

2018

- ・北京分公司設立

- ・トーランス市に移転

- ・Electronica 2018出展

2019

- ・ドイツ駐在員事務所を開設

2020



# 会社紹介

## ● ビジネスモデル

当社の独自性

計測技術と電源技術の両方を有していること！

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)

[顧客]



メーカー

(電機・電子機器、電子部品、自動車)

研究

開発・設計

生産

検査

メンテナンス

公的研究所・機関  
教育機関(大学等)

工業試験所  
(テストラボ)

公的機関  
(防衛、警察等)

## グローバルに販売展開！

### 電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、自動車のノイズ耐性(EMC)に関する試験、またEV用バッテリーの絶縁性能試験の測定需要が高まっています。

耐電圧試験器



EMC試験器



### 電源機器

研究開発や製造工場などで、安定した電力(直流・交流)を供給する設備として使用されます。近年は、ハイブリッドカー・電気自動車の評価に必須となる電子負荷装置(電力を消費する装置)、パワーコンディショナーなどの評価に必要な交流電源の需要が高まっています。

直流電源



交流電源

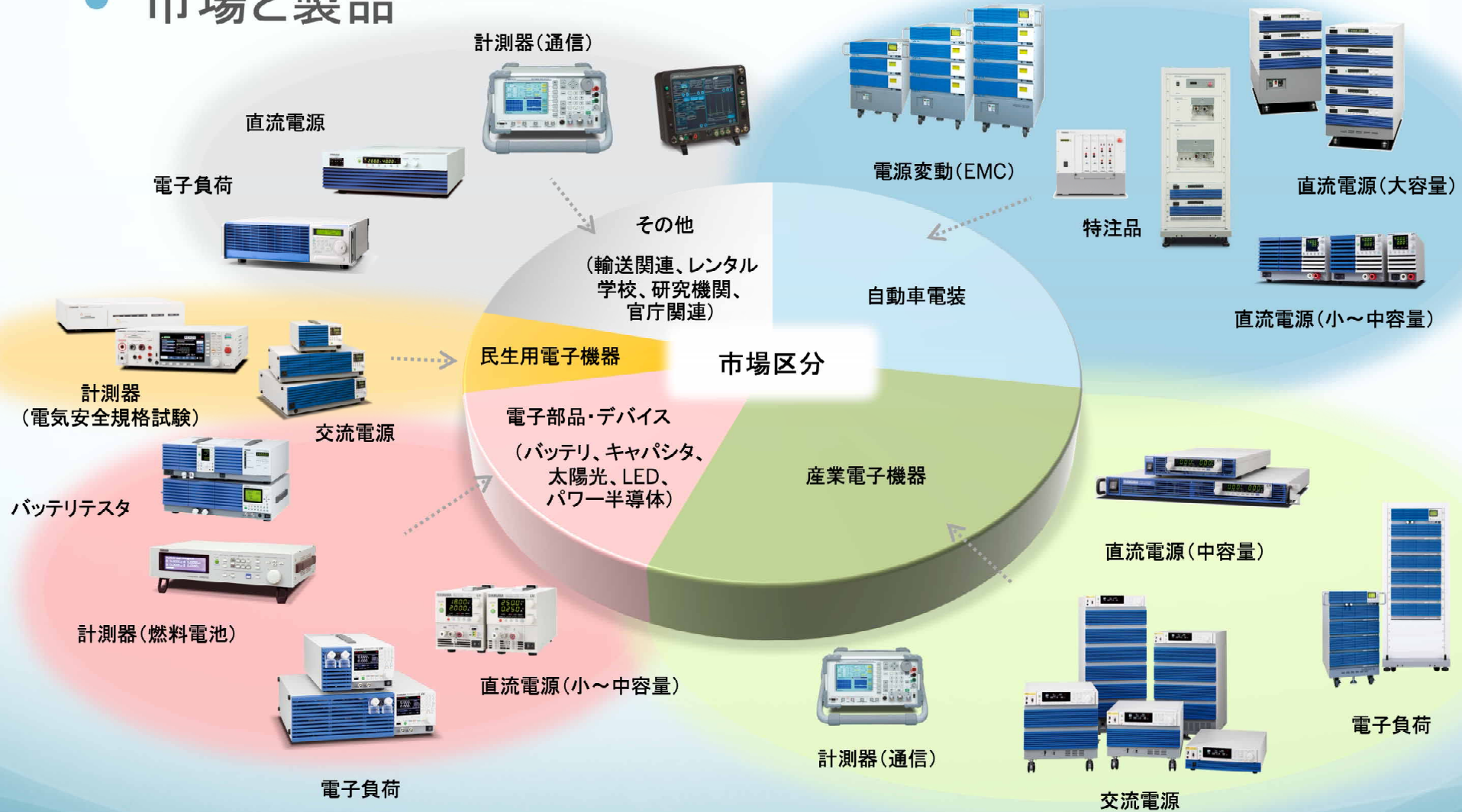


電子負荷



# 会社紹介(事業概要)

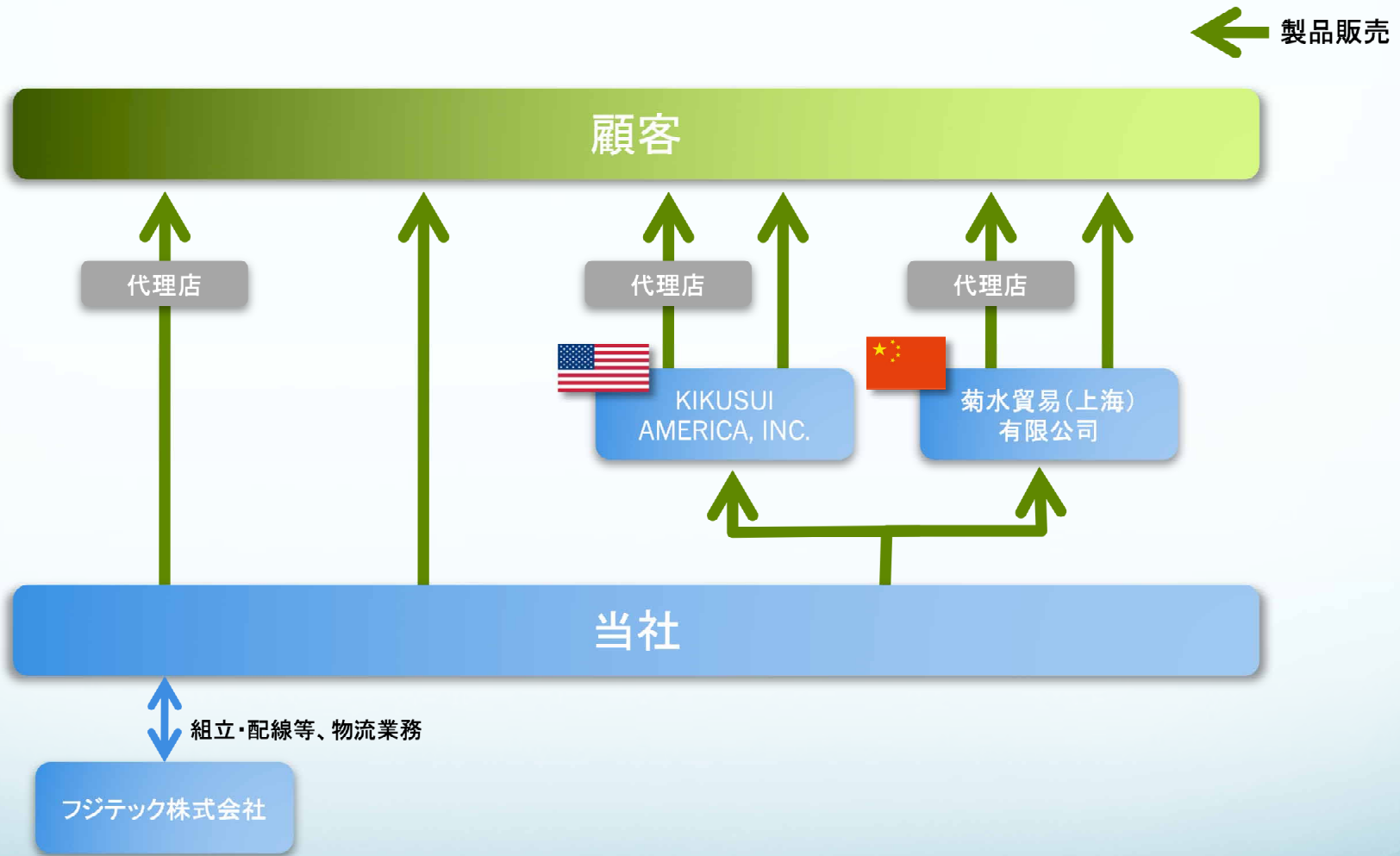
## ● 市場と製品



(2021年3月期実績による)

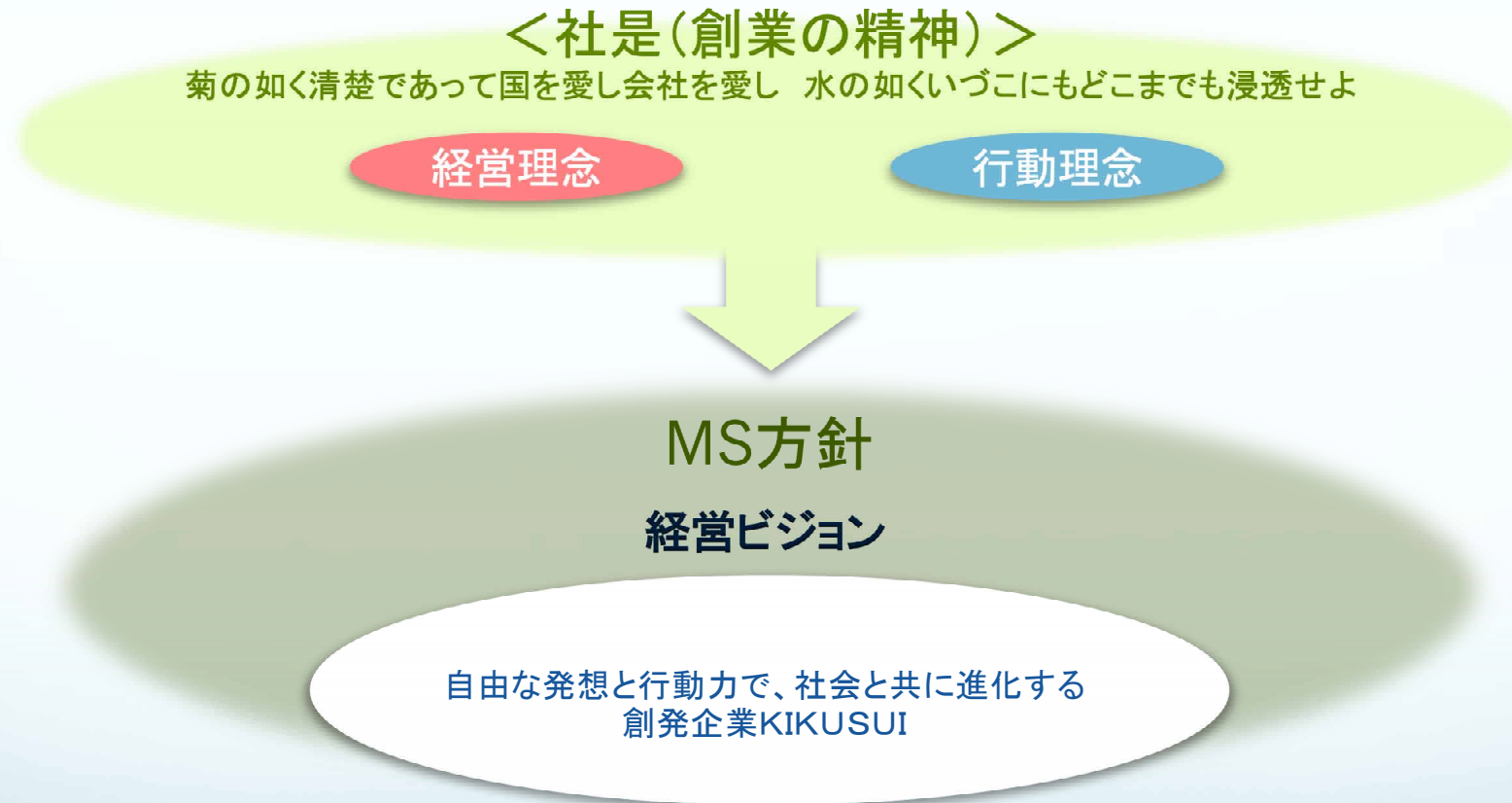
# 会社紹介

- 事業系統図



# 会社紹介

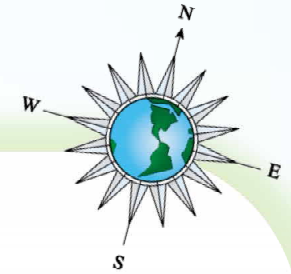
- コーポレートステートメント



# 2021年3月期 連結業績概要



# 2021年3月期 連結業績概要



## ● 決算サマリー

- 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高



単位:百万円

経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



## 経営の概況

当社グループが属する電気計測器業界においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、世界的に需要が減少したことによる影響を受け、厳しい状況にありましたが、自動車関連市場、半導体関連市場及び5G(第5世代移動通信システム)関連市場を中心にグローバルで需要が回復してまいりました。

このような状況の下、当社グループは、取引先の設備投資の凍結、先送り等により、厳しい状況で推移する中、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開するため、感染拡大防止に対応したオンライン商談等を進めるなど、売上拡大に努めてまいりましたが、需要の落ち込みの影響を取り戻すまでには至りませんでした。

この結果、当連結会計年度の売上高は、

81億6千3百万円(前年同期比10.0%減)となりました。

損益面におきましては、原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、営業活動が制限されたことにより出張費等の販売費及び一般管理費が減少したものの、

営業利益4億1千8百万円(前年同期比36.1%減)、

経常利益4億6千万円(前年同期比30.3%減)、

親会社株主に帰属する当期純利益3億2千5百万円(前年同期比34.4%減)

となりました。

# 2021年3月期 連結業績概要

## ● 損益計算書

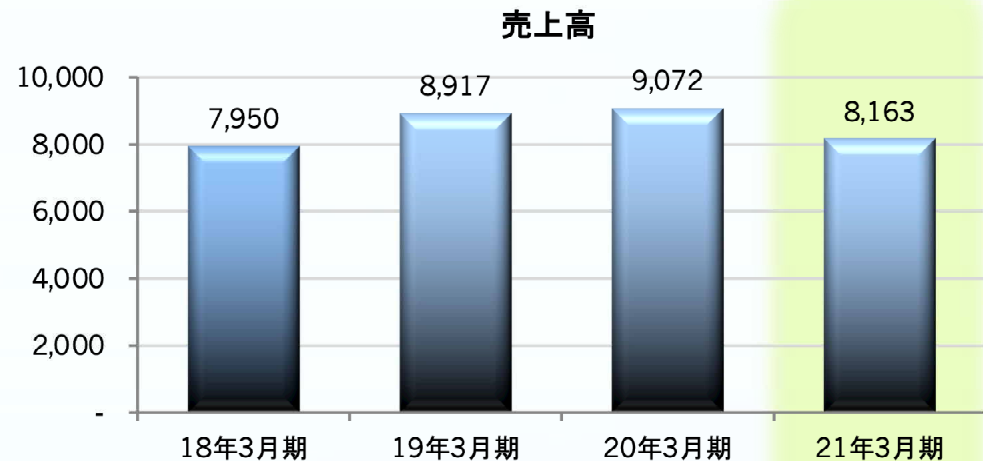
|                         | 20年/3月期 |           | 21年/3月期 |           | 前年同期比    |        |
|-------------------------|---------|-----------|---------|-----------|----------|--------|
|                         | 金額(百万円) | 対売上構成比(%) | 金額(百万円) | 対売上構成比(%) | 増減額(百万円) | 増減率(%) |
| 売上高                     | 9,072   |           | 8,163   |           | △909     | △10.0  |
| 売上原価                    | 4,373   | 48.2      | 3,969   | 48.6      | △404     | △9.2   |
| 売上総利益                   | 4,698   | 51.8      | 4,193   | 51.4      | △504     | △10.7  |
| 販売費及び一般管理費              | 4,044   | 44.6      | 3,775   | 46.3      | △268     | △6.6   |
| 営業利益                    | 654     | 7.2       | 418     | 5.1       | △236     | △36.1  |
| 営業外収益                   | 67      | 0.7       | 73      | 0.9       | 6        | 9.3    |
| 営業外費用                   | 61      | 0.7       | 31      | 0.4       | △29      | △48.5  |
| 経常利益                    | 660     | 7.3       | 460     | 5.6       | △200     | △30.3  |
| 特別利益                    | 38      | 0.4       | -       | -         | △38      | -      |
| 税金等調整前当期純利益             | 699     | 7.7       | 460     | 5.6       | △239     | △34.2  |
| 法人税、住民税及び事業税<br>法人税等調整額 | 203     | 2.2       | 134     | 1.7       | △68      | △33.8  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益     | 495     | 5.5       | 325     | 4.0       | △170     | △34.4  |
| 1株当たり当期純利益              | 59.94円  |           | 39.18円  |           |          |        |

※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

# 2021年3月期 連結業績概要

## ● 売上高と経常利益

- 売上高: 8,163百万円  
【前年同期 9,072百万円】  $\Delta 10.0\%$
- 経常利益: 460百万円  
【前年同期 660百万円】  $\Delta 30.3\%$
- 親会社株主に帰属する  
当期純利益: 325百万円  
【前年同期 495百万円】  $\Delta 34.4\%$



単位: 百万円



### Point



取引先の設備投資の凍結、先送り等により、厳しい状況で推移する中、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開するため、感染拡大防止に対応したオンライン商談等を進めるなど、売上拡大に努めてまいりましたが、需要の落ち込みの影響を取り戻すまでには至りませんでした。

この結果、当連結会計年度の売上高は、81億6千3百万円(前年同期比10.0%減)となりました。

損益面におきましては、原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、営業活動が制限されたことにより出張費等の販売費及び一般管理費が減少したものの、営業利益4億1千8百万円(前年同期比36.1%減)、経常利益4億6千万円(前年同期比30.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3億2千5百万円(前年同期比34.4%減)となりました。

# 2021年3月期 連結業績概要

## ● 製品群別売上概況

- **電子計測器**: 1,701百万円  
【前年同期 2,098 百万円】  $\Delta 18.9\%$
- **電源機器**: 6,125百万円  
【前年同期 6,638 百万円】  $\Delta 7.7\%$
- **その他**: 336百万円  
【前年同期 335百万円】  $+0.3\%$

### Point



#### 《電子計測器群》

航空機用電子機器の測定器は低調に推移いたしました。また、安全関連試験機器は、EV(電気自動車)用バッテリーの耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場向けに好調に推移いたしました。経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

#### 《電源機器群》

直流電源は、宇宙産業市場、半導体関連市場及び5G関連市場への評価試験や製造設備用として動きがありました。交流電源は、車載関連市場、ICT関連市場及び冷凍空調市場への評価試験や製造設備用として動きがありました。電子負荷装置は、車載関連市場及び電子部品市場への評価試験用として動きがありました。製造業の設備投資等の抑制の影響等により、低調に推移いたしました。また、EV関連市場や車載関連市場への評価試験用の特注製品に動きがありました。これら電源機器群は、経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

単位: 百万円





# 2021年3月期 連結業績概要

## ● 製品群別売上高構成比

- 電子計測器: 20.9%  
【前年同期 23.1%】  $\Delta 2.2\%$
- 電源機器: 75.0%  
【前年同期 73.2%】  $+1.8\%$
- その他: 4.1%  
【前年同期 3.7%】  $+0.4\%$

### Point



電子計測器の落ち込み及び電源機器の増加により、電源機器の構成比率が上昇しました。

■ 電子計測器  
■ 電源機器  
■ その他

単位: %



## ● 製品群別売上総利益率

- 電子計測器: 49.1%  
【前年同期 52.8%】  $\Delta 3.7\%$
- 電源機器: 51.3%  
【前年同期 50.6%】  $+0.7\%$

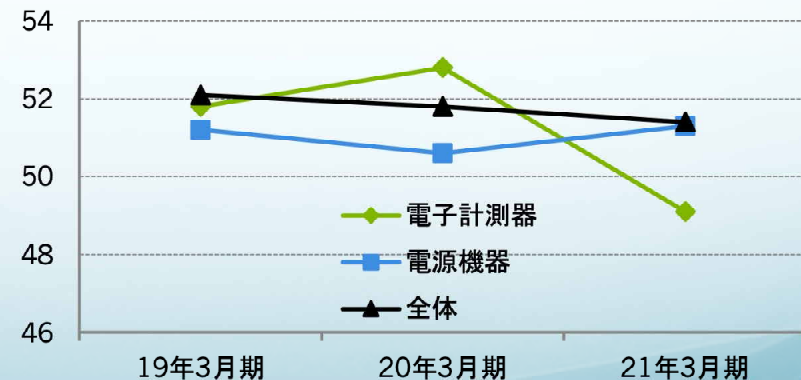
売上総利益率: 51.4%  
【前年同期 51.8%】  $\Delta 0.4\%$

### Point



原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴い売上総利益が減少しました。

単位: %



# 2021年3月期 連結業績概要

## ● 海外売上高

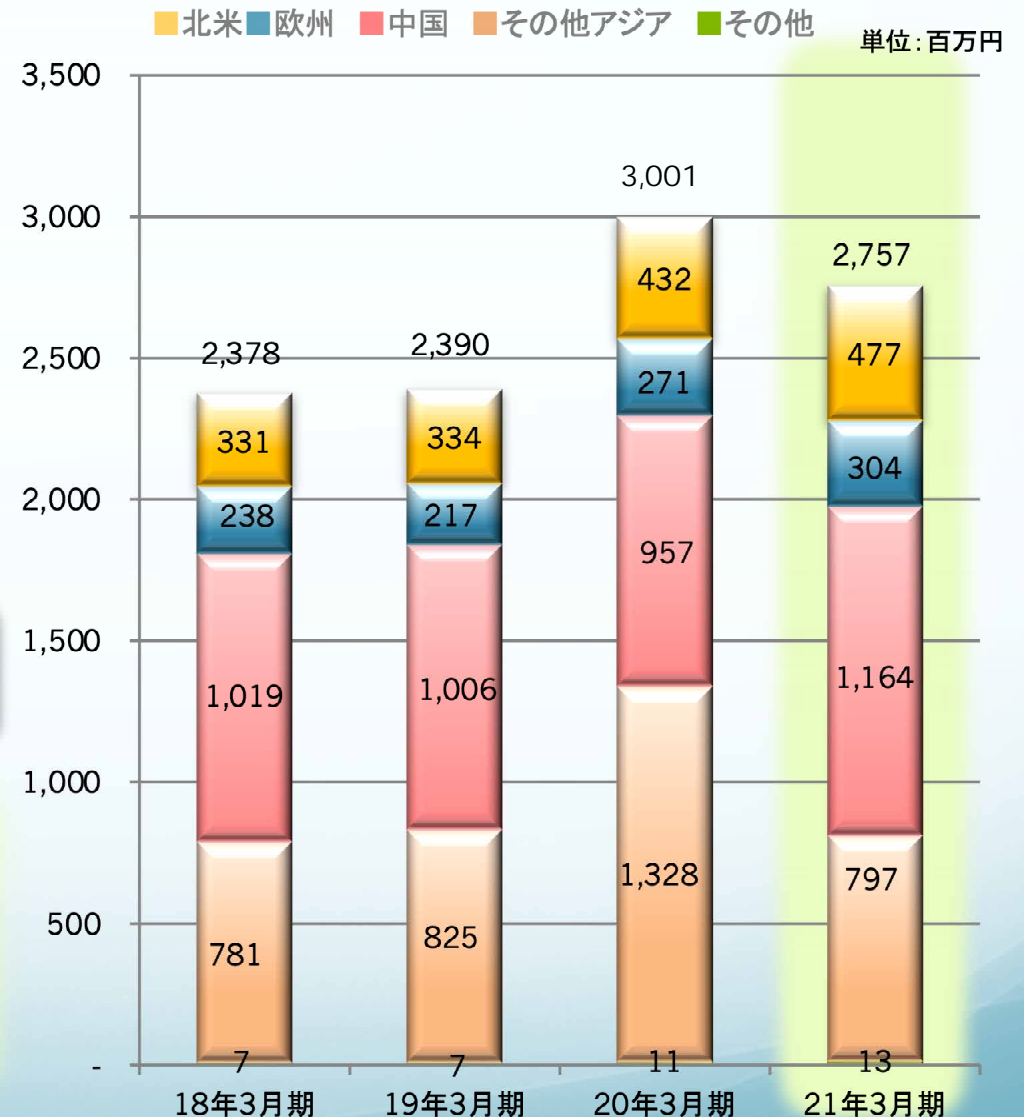
- **北米:477百万円**  
【前年同期 432百万円】 **+10.3%**
- **欧州:304百万円**  
【前年同期 271百万円】 **+12.4%**
- **中国:1,164百万円**  
【前年同期 957百万円】 **+21.6%**
- **その他アジア:797百万円**  
【前年同期 1,328百万円】 **△40.0%**
- **その他の地域:13百万円**  
【前年同期 11百万円】 **+13.4%**

**海外販売高合計:2,757百万円**  
【前年同期 3,001百万円】 **△8.1%**

### Point



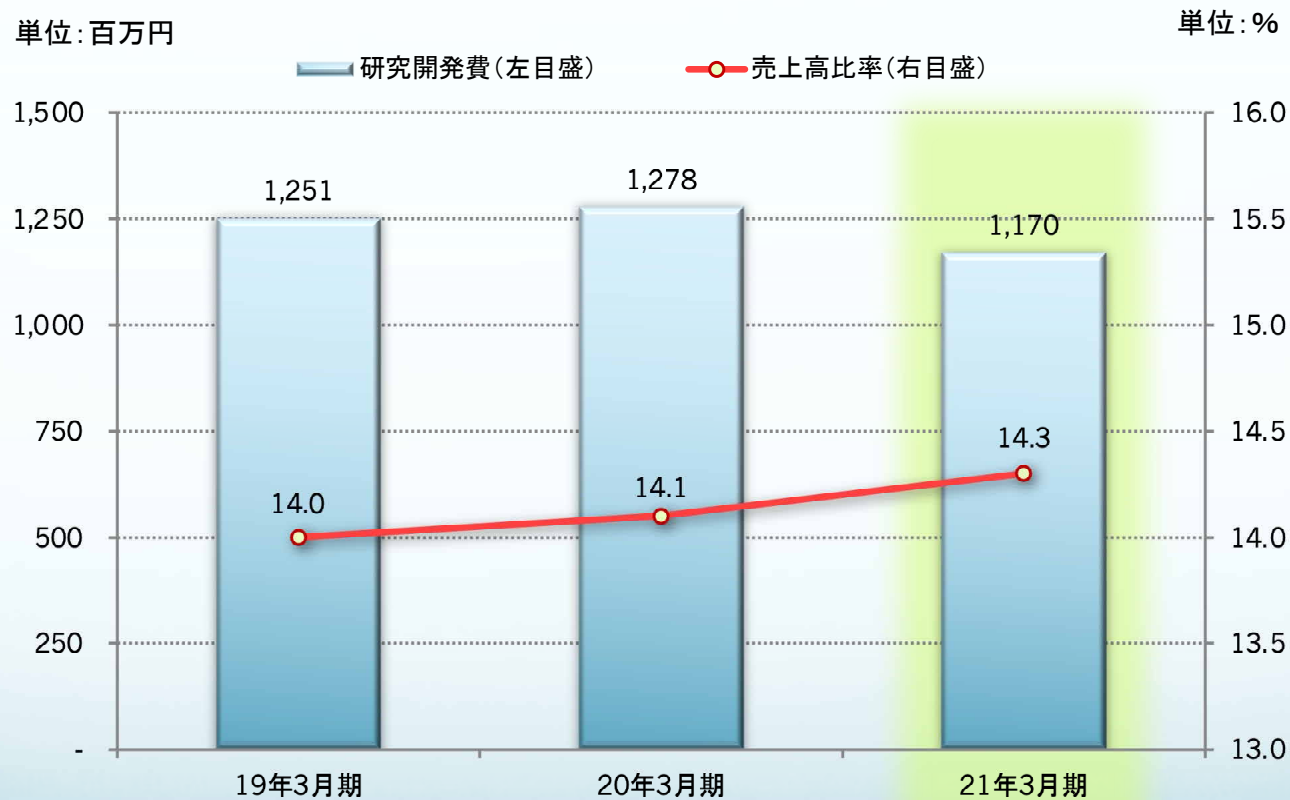
米国では、宇宙産業市場への直流電源が好調に推移いたしました。欧州では、経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。アジアにおいては、中国では米中貿易摩擦等の影響があったものの、電池関連市場への安全関連試験機器、5G関連市場への直流電源やICT関連市場への交流電源が好調に推移いたしました。一方、韓国及び東南アジアにおいては経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。



# 2021年3月期 連結業績概要

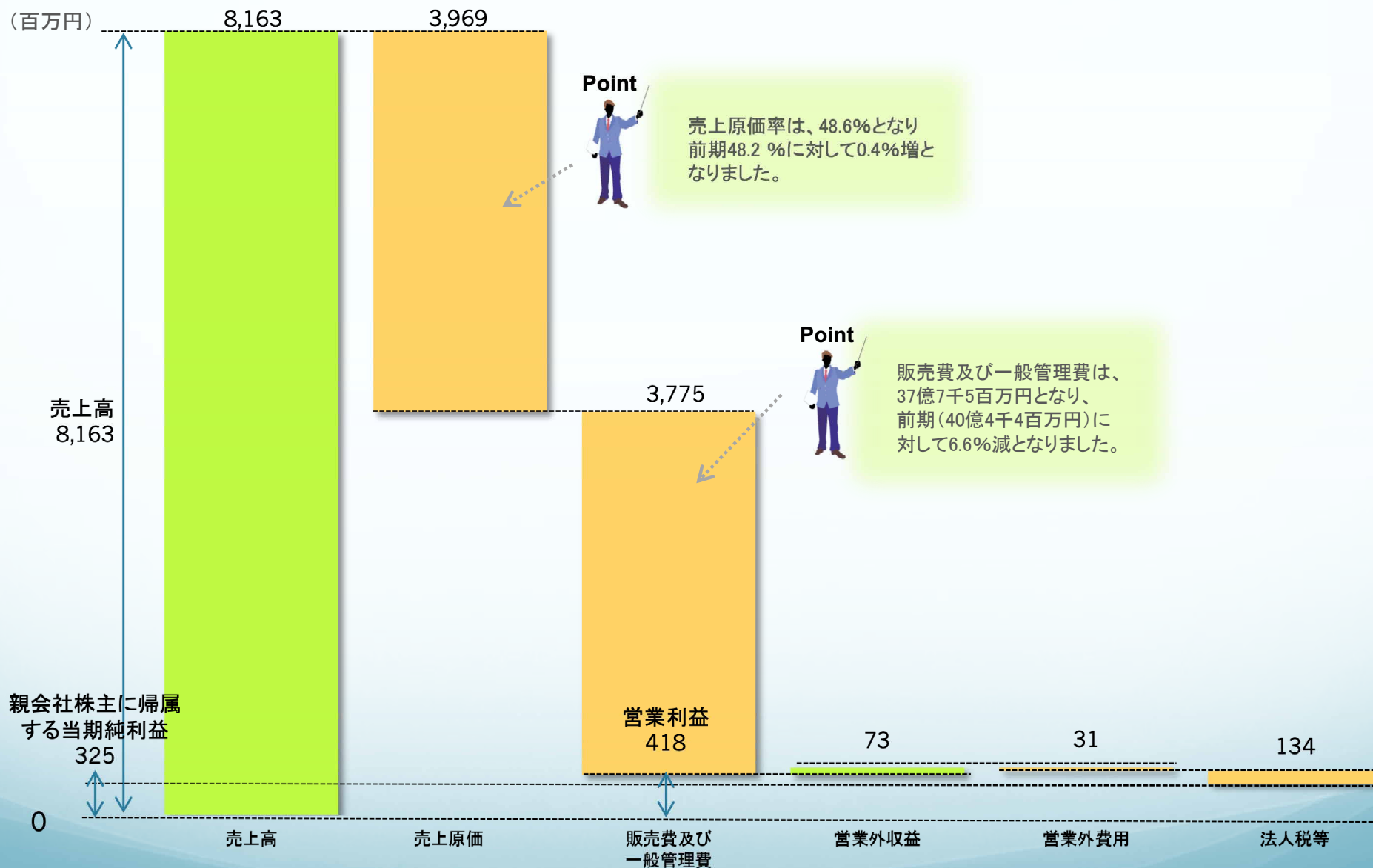
## ● 研究開発投資(対売上高比率)

- 1,170百万円(14.3%)  
【前年同期 1,278百万円(14.1%)】



# 2021年3月期 連結業績概要

## ● 損益の概況





# 2021年3月期 連結業績概要

## ● 貸借対照表

単位:百万円

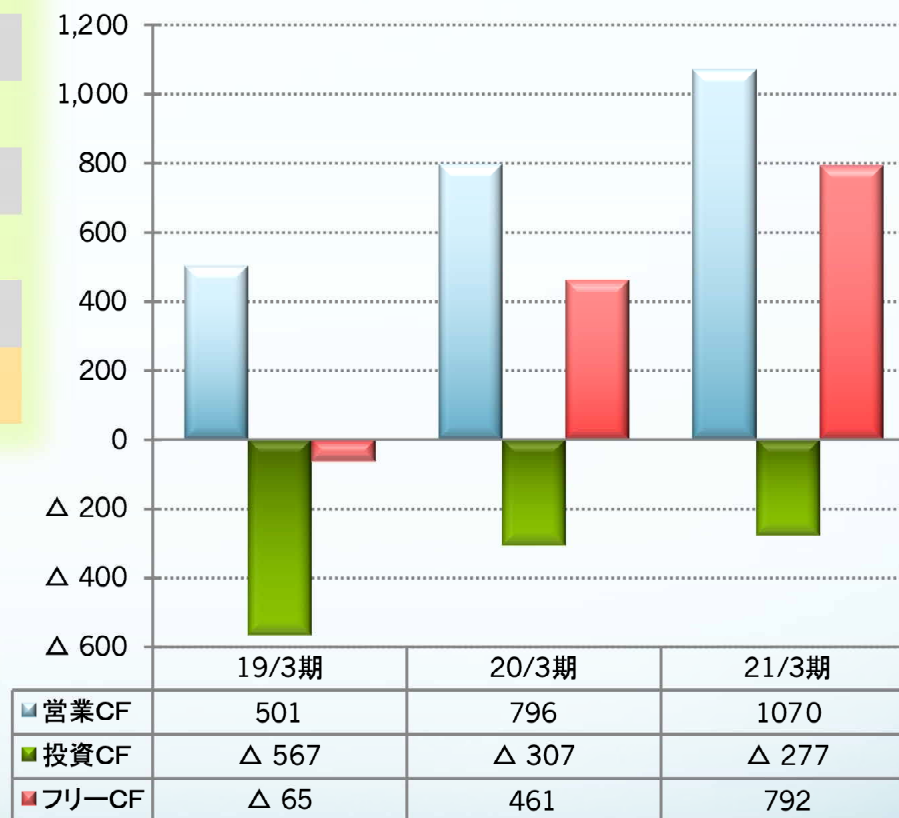
| 【資産の部】        | 20/3期         | 21/3期         | 増減          |
|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 流動資産合計        | 6,945         | 7,019         | 73          |
| 固定資産合計        | 4,710         | 4,967         | 257         |
| <b>資産合計</b>   | <b>11,655</b> | <b>11,987</b> | <b>331</b>  |
| 【負債の部】        | 20/3期         | 21/3期         | 増減          |
| 流動負債合計        | 1,564         | 1,439         | △124        |
| 固定負債合計        | 585           | 557           | △28         |
| <b>負債合計</b>   | <b>2,150</b>  | <b>1,997</b>  | <b>△152</b> |
| 【純資産の部】       | 20/3期         | 21/3期         | 増減          |
| 資本金           | 2,201         | 2,201         | 0           |
| 資本・利益剰余金      | 7,834         | 7,977         | 142         |
| 自己株式          | △806          | △789          | 17          |
| その他の包括利益累計額合計 | 276           | 599           | 323         |
| <b>純資産合計</b>  | <b>9,505</b>  | <b>9,989</b>  | <b>483</b>  |

# 2021年3月期 連結業績概要

## ● キャッシュ・フロー

【CF計算書】 単位:百万円      19年/3月期    20年/3月期    21年/3月期      単位:百万円

|                  |       |       |       |
|------------------|-------|-------|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 501   | 796   | 1,070 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △567  | △307  | △277  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △255  | △193  | △195  |
| 現金及び現金同等物の増減額    | △326  | 257   | 623   |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 2,533 | 2,206 | 2,464 |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 2,206 | 2,464 | 3,088 |



### Point



営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等による資金の増加が、法人税等の支払等による資金の減少を上回り、10億7千万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等による資金の減少が、投資有価証券の売却等による資金の増加を上回り、△2億7千7百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、△1億9千5百万円となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、6億2千3百万円増加し、30億8千8百万円となりました。

# 2022年3月期 連結業績予想

# 2022年3月期 連結業績予想

|                     | 21年/3月期   |           | 22年/3月期     |           |
|---------------------|-----------|-----------|-------------|-----------|
|                     | 通期実績(百万円) | 通期予想(百万円) | 前期比増減額(百万円) | 前期比増減率(%) |
| 売上高                 | 8,163     | 8,400     |             |           |
| 営業利益                | 418       | 500       |             |           |
| 経常利益                | 460       | 540       |             |           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 325       | 360       |             |           |

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減額及び増減率は記載しておりません。

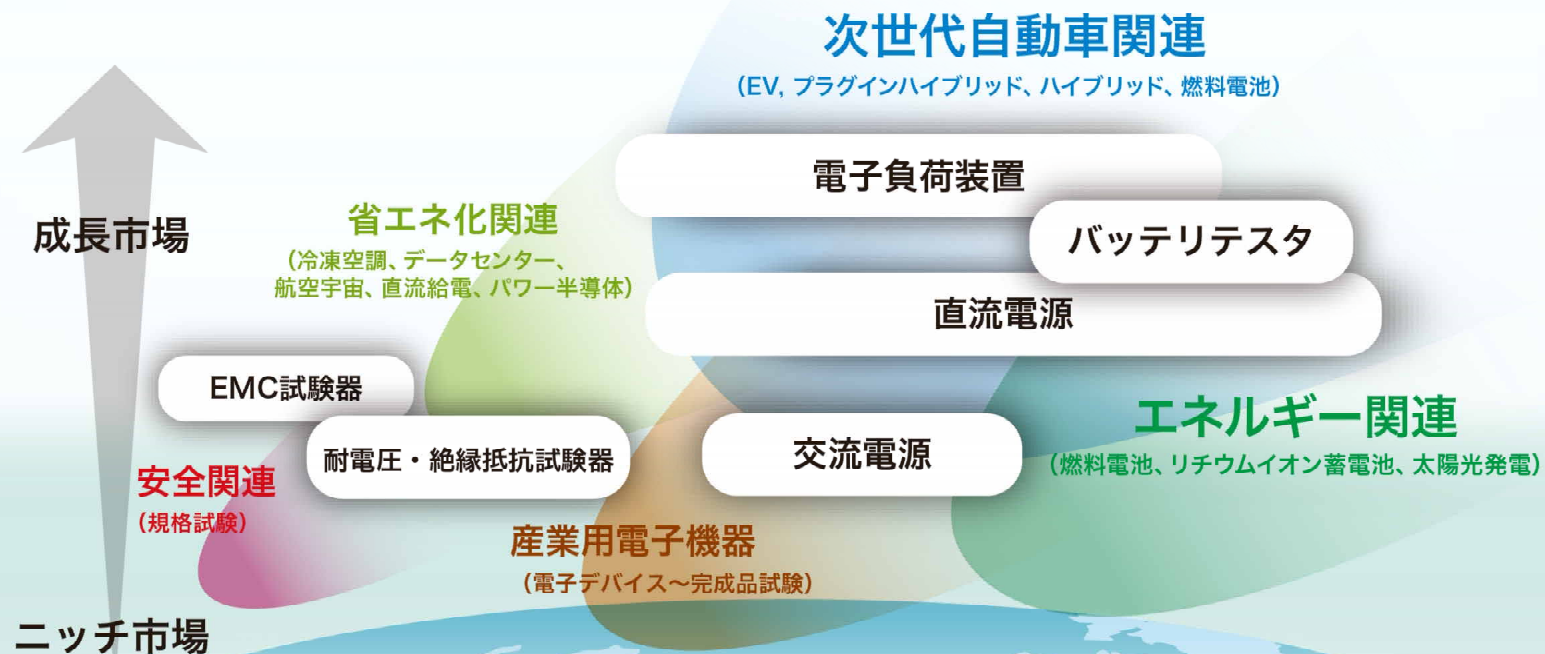
  

|              | 21年/3月期 |         | 22年/3月期   |  |
|--------------|---------|---------|-----------|--|
|              | 通期実績(円) | 通期予想(円) | 前期比増減額(円) |  |
| 1株当たり<br>配当金 | 20.00   | 23.00   | 3.00      |  |

# 今後の事業戦略

# 今後の事業戦略

## EV関連とエネルギー分野に注力



米国、アジアを中心に海外市場拡販を強化！

# 本資料における注意事項

本資料は、2021年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2021年5月14日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

[本資料および当社IRに関するお問い合わせ先]

菊水電子工業株式会社 総務部 IR担当

TEL:045(482)6912 E-mail:[ir@kikusui.co.jp](mailto:ir@kikusui.co.jp) URL:<https://www.kikusui.co.jp/>